

V-1 子育ての不易流行を考える

【エピソード】

ある日の夜、吉田さんは夫とふたりでドラッグストアに出かけました。買い物をしていると、小さな子どもたちを連れて若い親がお店に入ってきました。最初はおとなしくしていた子どもたちも、次第に店内を走り回り、床に寝ころんだりしはじめました。でも、親は注意する様子はありません。

次の日、孫を連れて遊びにきた息子に、吉田さんはさっそく昨晚の出来事を話しました。

息子：「遅い時間に子どもをつきあわせるのはおかしいと思うけれど、何か事情があったかもしれないよ。生活のスタイルだって昔と変わってきてるんだし。」

吉田：「でも、子どもも疲れていてかわいそうだったわ。子どもには子どもの生活リズムがあるのよ。夜遅く、子どもを連れ回すなんて…。」

ワーク1

- 吉田さんと息子のやりとりを聞いて、感じたことを自由に出し合いましょう。

ワーク2

- あなたが子育てしていた頃と、いまの子育てや親について変わらないと感じることは何ですか。



ワーク3

- あなたが子育てをしていた頃と比べて、いまの子育て環境や親の対応について変わったと感じることは何ですか。

- 変わったと感じることの背景は何だと思われますか。資料を参考にして、考えてみましょう。

ふりかえり

- 子どもと子育てを応援する地域の大人として、今日からできることは何ですか。

